

コロナウイルス関連 公開情報取りまとめ
～2020年4月7日（火）18時現在～

在サンパウロ日本国総領事館

1 サンパウロ州

4月7日（火）発表

- 7日（火）17時現在、州内の感染者は5652人（前日4861人）、死者は371人（同304人）。67人の死者確認は一日当たりでは過去最多。60歳以上の死者は313人。感染が確認されたのは州内全645市のうち121市（同107市）。州内の検査結果待ちは約1万7000件に上る。
- サンパウロ州政府は、サンパウロ市イビラプエラ公園内のコンスタンシオ・ヴァス・ギマラエンス総合体育施設に新たに仮設病院を建設する。建設資金は4200万リアルで、5月1日（金）までに完成予定。軽症者用の病床を240設け、800人の医療関係者が従事予定。
- 7日（火）17時半現在、パカエンブー競技場内に設置された野外仮設病院（計200床）で22人が入院した。うち2人が重症者向けの専用治療室に入った。同日中に更に10人以上が入院する見込み。
- サンパウロ州政府は低所得層向け食料支援プログラム「アリメント・ソリダリオ」を実施。17日（金）から400万人の低所得層に100万の食料セットを配布。民間企業から寄付された1億1千万リアルで賄う。
- サンパウロ交通公社（SPTrans）は市内バスを更に増便、運行本数は通常時の約53%に。
- サンパウロ大学（USP）は、コロナウイルス研究支援等を目的とした研究機関向けの財政支援プロジェクトを開始。研究費として、口座振り込みやクレジットカードを通じた寄付金を呼び掛けている。
- 消費者センター（Procon.SP）によると、コロナウイルスの感染拡大に関連した消費者からの通報は6日（月）までに2831件あった。うち6割が不当に高く設定されたアルコールジェル等の価格に関するもの。
- 閉館中のサンパウロ図書館（BSP）は、ネットやSNSを通じて自宅で楽しめる様々なコンテンツを配信。

2 マット・グロッソ州

4月6日（月）～7日（火）発表

- 7日（火）18時現在、州内の感染者は78人（前日76人）、うち州都クイアバ市が43人、ロンドノポリス市が6人、ヴァルゼア・グランデ市が（5人）と続く。16人が入院中。死者は1人。
- 6日（月）、同州政府は連邦最高裁判所による差止措置を踏まえ、連邦政府への債務払いを180日間延期。
- 6日（月）、クイアバ市はガソリンスタンド内のコンビニの営業を毎日許可と発表。但し店内の飲食は禁止。
- 7日（火）、クイアバ市は市条例を通じ、新たに4月6日（月）～5月10日（日）の外出自粛（社会的距離の確保）を呼び掛け。同市役所もこの期間、窓口対応を中止し、電話やメールでの対応へ。
- 7日（火）、同州政府と同州全国産業職業訓練機関（Senai-MT）は、病院用マスク500万枚を生産することで連携すると発表。100万枚／月の配布を目指す。

3 マット・グロッソ・ド・スル州

4月6日（月）～7日（火）発表

- 7日（火）11時現在、州内の感染者は80人（前日66人）、うち16人が入院中。死者は2人。
- 6日（月）、同州政府は連邦政府よりコロナウイルス対策費として784万リアル受領。州内各市に配分。
- 7日（火）、同州交通局（Detran-MS）は13日（月）より、窓口対応を部分的に再開予定と発表。
- 7日（火）、州都カンポ・グランデ市は医療従事者向けに10万枚のN95マスク、1万5000枚の使い捨てマスクのほか、計7万7255リットルのアルコールジェルを購入。検査キットの購入手続も推進。
- 7日（火）、カンポ・グランデ市は条件付きでフェイラの営業を再開予定と発表。その場での飲食は禁止。

（了）